



医療法人社団 吉田会 吉田病院 平成 21 年 2 月 15 日発行

## 病院理念

私たちの力の全てを  
心の悩みを持った方とご家族のために  
～ All for our clients ～

## 基本方針

1. 私たちは、患者様おひとりおひとりの個性を尊重し、その心の理解に努め適切な援助を行います。
2. 私たちは、患者様とご家族が安心して利用していただける病院運営を行います。
3. 私たちは、常に技術向上をこころがけ全職員の連携を大切にします。
4. 私たちは、地域に開かれた精神医療を目指します。

## 患者様の権利に関する宣言とお願い

1. あなたはひとりの人間として、常にその人格、価値観などが尊重される権利があります。
2. あなたは社会的な地位や病気の種類などにより差別されることなく、良質の医療を受ける権利があります。
3. あなたは自分が受ける治療や検査について、理解しやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
4. あなたは自分自身の治療などについて、自分の意見を述べ自ら決定する権利があります。
5. あなたは自分の健康状態・症状・診断等の個人情報やプライバシーについて保護される権利があります。

# 理事長挨拶

医療法人社団吉田会 理事長 吉田玲夫

2008 年は大不況の1年でした。アメリカから始まった金融不安が世界に拡大し、日本でも主幹産業である自動車業界をはじめ、製造業を中心に多大なる余波を受けることとなりました。新しい年を迎えた今でも、製造業を中心として派遣労働者をはじめとする雇用調整が行なわれるなど、「これからどうなるのか」という不安を誰もが抱く状況でもあります。

そんな中、思い返せば去年は北京オリンピックがあり、日本人選手の活躍に沸いた年でもありました。フェンシングで銀メダルをとった太田選手は、「練習中はどんなことを考えて練習していますか？」という質問に、「金メダルを取って表彰台に上がっていることをイメージしていた」と答えていました。夢は甘美なものでありますし、夢があるからこそ人は辛い試練に耐え、前向きに頑張れるものです。その一方で、そのギャップが大きいと不安を感じたり、辛い気持ちになるため、人は年齢を重ねると、夢を見なくなるといわれています。でも「金メダルを取ろう！」という強い気持ちがない人には、金メダルが取れないのも事実です。

今年こそ、ともに良い夢を見ましょう。吉田病院職員一同、ささやかではありますが、皆様の夢実現のお手伝いをしたいと考えています。

皆様にとって、この一年がよい年でありますように。

## あるフランスの哲学者の言葉

「悲観主義は気持ちから、楽観主義は意志からできている」。





# 吉田病院文化祭 紅葉の会

## 病院行事紹介

毎年恒例になりました吉田病院の文化祭“紅葉の会”を11月に開催しました。

今年のテーマは「チャレンジしよう！！」です。『入院患者様・外来患者様の活躍の場にしていただきたい』そして『地域の皆様との交流を大切にし、精神科病院を身近に感じていただきたい』という思いを込めました。

この秋一番の寒空の中での開催でしたが、自立支援センターあおぞらの皆様や地域の皆様が「面白そうなので来ました」と参加してくださいました。

紅葉の会は、患者様が作った作品の展示コーナーやステージでの催し、屋台を中心に行います。

ステージでは今回が初舞台となる入院患者様によるビートルズのコピーバンド「ヒートルズ」によるライブや、琴とフルートのアンサンブル演奏をしていただき、和楽器「琴」と洋楽器「フルート」の絶妙なハーモニーに聴き入りました。

仮装大会では患者様も職員も参加し、ウエディング姿、和服美男美女、腹芸などなど会場を沸かせてくれました。そして津久茂地区女性会の皆様にもコーラスを披露していただき、最後には皆さんで「大きな栗の木の下で」を振り付けしました。

また、例年の職員による屋台に加え、今年はデイケアのメンバーによる喫茶店も開かれました。野菜クッキーやカップケーキなどの手作りお菓子付きメニューが大人気でした。

皆様のご協力のおかげで患者様、地域の皆様そして職員が共に楽しめる文化祭を行うことが出来ました。紅葉の会を盛り上げていただいた皆様にこの場をお借りし、お礼申し上げます。

さらに「地域に開かれた病院」を目指すため、努めてまいります。今後とも宜しく願いいたします。



作品展示コーナー



デイケア喫茶店★大繁盛



仮装大会

## 看護研究報告

看護部では毎年チームを編成し、看護研究に取り組んでいます。この度 11 月に行われた日本精神科看護技術協会広島県支部看護研究学会での発表を行ってまいりましたので、その一部をご紹介します。

### 『統合失調症患者に対する糖尿病セルフケアへの関わり～変化ステージを用いた看護介入を行っての変化～』

黒瀬 智晴

糖尿病は皆様ご存知の通り、とても身近な病気で、日本では 40 歳以上の 7 人に 1 人が糖尿病と言われています。糖尿病の治療として最も大切なのは“食事療法”です。しかし、1 日の摂取カロリーを制限することが基本のため、精神的に辛さを感じやすく、治療の中断や再発も少なくありません。

また慢性期の統合失調症を併せ持つ患者様は生活の変化によるストレスの感じやすさや感情を伝えることに困難を抱えています。

そこで、患者様 1 人 1 人の治療段階に応じた介入方法と、治療で感じるストレスに注目した研究をおこないました。ここでは患者様と職員が共に病気や治療について話し合い、患者様の辛さや難しさを共に考える過程を大切にすることで糖尿病治療の継続を目指すものです。

研究を通し、患者様が問題を解決し前向きに治療に取り組む姿に励まされました。また、治療にあたっては患者様を含めた医師、看護師、栄養士などの他職種によるチームで取り組むことの大切さを知る機会となりました。

## 職場紹介 第3回

# 1病棟日々の雑感

1病棟は精神科の開放病棟であり、患者様には明るく自由な雰囲気でご過ごして頂いております。近年精神科医療の目まぐるしい変革に伴って、一般病院に負けない位の開けた環境になっています。

2年前より作業療法士もスタッフとして増えてからは、園芸・運動・手作業・カラオケ・料理教室・写真会・お裁縫・外出など、さまざまな作業療法が取り入れられるようになり、患者様に提供できる医療の幅も広がってきたように思います。



ホットケーキを焼きました!

また、毎月の集団活動では季節に合わせ、ハイキング、そうめん流し、運動会、クッキングなど行っていますが、患者様も準備から片付けまで参加していただき、自らが持っている力を発揮されています。

昨年より、長期に入院生活をしてこられた患者様の方々が社会で生活していけるよう病院のスタッフが一丸となり退院への支援活動を実施しています。



晴れた日の散歩

その結果 8 名の方が当院に併設された賃貸住宅に退院され、デイケアに通いながら自立生活をされています。

「デイケアへ通うことはちょっと大変だけど、常に仲間がいてスタッフとも会えるので、結構慣れると(一人暮らしも)いいもんです」とある入居者さんも思っておっしゃっているようです。

現在も、入院されている患者様が退院できるよう、スタッフ一同お手伝いしていきたいと思っております。 1病棟 看護師 浜名

## 委員会活動紹介

# 防火防災委員会での活動

防火防災委員会では火災をはじめとした災害から、人命・財産を守るという基本的な理念のもと活動しております。

主な活動は年 6 回の火災避難訓練で、訓練手順の作成、訓練時の消火や避難誘導の指示、訓練結果の職員全体会議での報告を行っています。他には、定期的に消火設備の動作・配置の確認、年 2 回(春と秋の火災予防週間の時に)新入職員を対象とした消火器具の取り扱いの説明と実施訓練、そして毎年ある江田島市の自衛消防隊消防競技大会への 消火器実施訓練の様子参加、不定期では防火設備の説明会等も行っております。



今年度からは院内のみならず、当院に併設された精神障害者向け賃貸住宅“花水木”の入居者に対しても防災意識を高めていただくため、昨年の 7 月に入居者を対象とした火災予防の講習会を 11 月には

職員とともに消防署員の指導のもと消火器を実際に使用する訓練を行いました。さらに今月には実際に賃貸住宅の居室から出火するという想定のもと避難訓練を実施しました。

今後も病院関係者や患者様などより多くの方の防火防災に対する意識の向上をめざして活動を続けていきたいと思っております。

防火防災委員会委員より



消防競技大会消火器女子の部優勝

# 職員紹介

## 看護師長 橋本美代子



患者様お一人お一人の人生を思いながら...

今回の職員紹介では橋本美代子看護師長を紹介します。

看護師として34年目を迎え、その豊富な経験と知識から当院の看護部には必要不可欠の存在となっています。

【当院に勤務して何年ですか？】

15年になります。病棟が建て変わる前に毎朝グラウンドでやっていたラジオ体操や運動会、ソフトボールなど懐かしく思います。あの頃はみんなまだ若かった・・・

【看護に対して最も心がけていることは何ですか？】

精神科の看護に15年間携わってきて少しずつ精神科看護が分かってきたと思います。最近では少し少なくなった看護師としての人生をどのように送るべきかよく考えます。その中で“患者様人生はこれで良いのか？”“今後どうありたいのか？またどうあるべきか？”など患者様お一人一人にとって何が最も必要なのかを考えながら看護に努めることが大切だと考えるようになりました。

【リフレッシュの方法はなんですか？】

花を育てることです。芽がでたり花が咲くと孫を見ているようないとおしい気持ちになります。“良く咲いてくれたね”と声をかけたくなるんですよ。

【仕事を継続する秘訣は何ですか？】

- 1、嫌なことは引きずらない。
- 2、自分の思いはストレートに伝える。
- 3、人の良いところを見ること。

### 【診療案内】

- 診療科 精神科/神経科/内科
- 診療日 月曜日～土曜日（日祝休診）
- 診療時間  
午前/9:00～12:00（受付11:30まで）  
午後/予約のみ

### 【アクセス】

- 広島港より  
切串港行きフェリーに乗船 車で15分  
小用港行き高速船に乗船 車・バスで20分
- 呉中央桟橋より  
小用港行きフェリー・高速船に乗船 車・津久茂行きバスで20分

### 【周辺地図】



### 【編集後記】

先日、春一番が広島でも観測されました。この10年間で最も早い観測だったそうです。これも地球温暖化の影響なんでしょうか・・・。

さて、今回も無事に(?)「だんだん」第3号を発行することができました。このところ、日本のGDP(国内総生産)が10月～12月期で年率マイナス12.5%になるなど、経済も厳しい状況が続いています。

こんなときこそ、明るい話題を少しでも提供していけるよう一同努力していきたいと思えます。

医療法人社団 吉田会 吉田病院

〒737-2126

江田島市江田島町津久茂 2-6-2

TEL 0823-42-1100

FAX 0823-42-1195

<http://www.yoshida-hospital.org/>

